

タカラバイオ株式会社 2023年3月期通期決算(補足資料)

1. 2023年3月期通期業績について

【決算短信 12 ページ】

(売上高)

- ・ 「試薬」は、659億2,500万円となり、前期比134億4,600万円(25.6%)の増収となりました。このうち、一般研究用試薬は300億2,400万円(前期:268億4,000万円)、COVID検査関連試薬は359億100万円(前期:256億3,900万円)となりました。
- ・ 「機器」は、13億7,500万円となり、前期比▲1億4,200万円(▲9.4%)の減収となりました。
- ・ 「受託」は、大型ゲノム解析プロジェクトの終了やCOVIDワクチン関連受託が減少したため82億円となり、前期比▲32億2,600万円(▲28.2%)の減収となりました。
- ・ 「遺伝子医療」は、26億4,000万円となり、前期比3億6,500万円(16.1%)の増収となりました。GMPグレード試薬類等が堅調に推移しました。
- ・ 以上により、売上高は781億4,200万円となり、前期比104億4,200万円(15.4%)の増収となり、過去最高の売上高となりました。

(売上総利益)

- ・ 売上原価は、売上構成の変化等により原価率が前期に比べ上昇したため、売上総利益は447億6,500万円となり、前期比▲44億4,500万円(▲9.0%)の減益となりました。

(営業利益)

- ・ 販売費及び一般管理費では、研究開発費や人件費等に積極的に投資したため、営業利益は205億4,100万円となり、前期比▲83億6,000万円(▲28.9%)の減益となりました。

(期末配当)

- ・ 期末配当は、想定当期純利益の30%台後半を目途(従来:20%を目途)とした1株あたり42円とします。前期からは9円の増配、配当開始以来11期連続の増配となります。

※当社株主総会(2023年6月)付議予定

2. 2023年3月期通期業績(前回予想:2月11日公表)との比較

- ・ 売上高および売上総利益は、前回予想をやや下回りましたが、販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益は、前回予想を5億4,100万円(2.7%)上回りました。

3. 2024年3月期通期業績予想について

【決算短信 13 ページ】

(売上高)

- ・ 「試薬」は、383億5,300万円、前期比▲275億7,100万円(▲41.8%)と、大幅な減収を予想しています。一般研究用試薬は、前期比80億1,000万円(26.7%)の増収となる予想ですが、一方で、前期に売上が大きかったCOVID検査関連試薬は、感染状況や感染法上の位置づけの変更を踏まえ、今期は大幅な減収を見込んでいます。
- ・ 「機器」は、20億1,900万円、前期比6億4,300万円(46.8%)の増収予想です。
- ・ 「受託」は、99億1,400万円、前期比17億1,300万円(20.9%)の増収予想です。再生医療等製品関連受託および遺伝子解析/検査関連受託ともに増収を予想しています。
- ・ 「遺伝子医療」は、30億1,200万円と、前期比3億7,200万円(14.1%)の増収予想です。引き続きGMPグレード試薬類等が好調に推移すると予想しています。
- ・ 以上により、売上高は533億円となり、前期比▲248億4,200万円(▲31.8%)の減収を予想しています。

(売上総利益)

- ・ 売上総利益は、減収により、前期比▲107億8,000万円(▲24.1%)減益の339億8,400万円と予想しています。

(営業利益)

- ・ 販売費及び一般管理費では、研究開発費や人件費等への積極的な投資を継続する計画であるため、営業利益は80億円、前期比▲125億4,100万円(▲61.1%)の減益となる予想です。

(期末配当)

- ・ 期末配当は、想定当期純利益予想の35%を目途とした、1株あたり17円の予想です。配当開始以来、初めての減配となりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

4. COVID検査関連試薬の状況について

- ・ 23/03期は、日本国内の感染者増加の影響などにより出荷量が増加しました。
- ・ 24/03期は、感染拡大状況が落ち着き、感染法上の位置づけが変更されることから、検査数の減少が見込まれ、COVID検査関連試薬の売上は大幅に減少すると予想しています。

期間	21/03期	22/03期	23/03期
売上高(億円)	130	256	359

5. 中期経営計画 2025 策定について

【タカラバイオグループ「中期経営計画 2025」を策定】

- ・ 2025年度(2026年3月期)を最終年度とする3年間の「中期経営計画 2025」(以下、新中計)を策定しました。新中計は2020年度に策定した「長期経営構想 2025」(2020～2025年度)の後半3年間の具体的な実行計画を定めたものです。
- ・ 新中計では、「長期経営構想 2025」の定量目標を前倒して達成し、飛躍的な成長を遂げることを全体方針とし、最終年度の定量目標を営業利益 150 億円、ROE 8%としました。
- ・ 詳細につきましては、本日付のプレスリリース『タカラバイオグループ「中期経営計画 2025」を策定』をご覧ください。

6. CD19・JAK/STAT CAR 遺伝子治療薬(TBI-2001)の治験開始について

- ・ カナダ保健省に治験計画届を提出し、治験開始同意書(No Objection Letter)を2023年3月30日付で受領しました。これを受けて、共同開発先のプリンセス・マーガレット・がんセンター(カナダ・トロント市)において、CD19陽性B細胞リンパ腫を対象とした第I/Ib相臨床試験を開始します。

以上